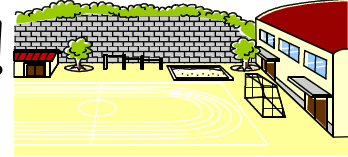


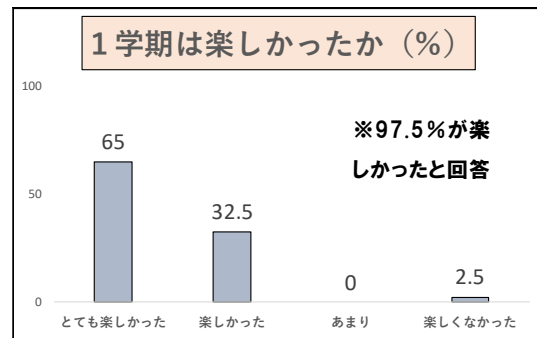
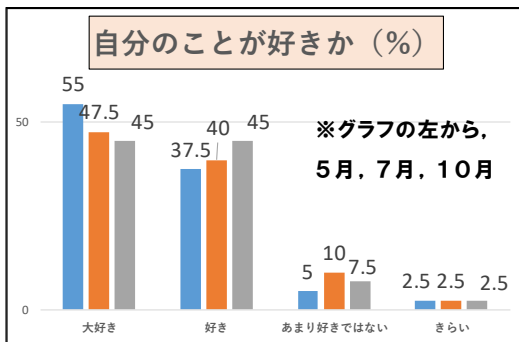
蔵地台地

～「夢」と「高森の心」を育み、
挑戦し続ける学校～
高森町立高森東学園義務教育学校
【学校だより No. 16】 R1. 10. 11 文責：塩村

みんな元気に登校できました！ ～ 1学期の終業式（10/11）～

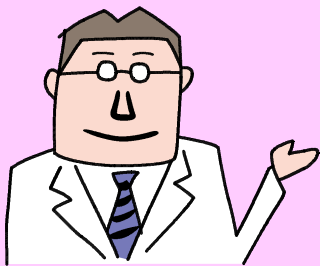


4月に6名の1年生が入学して、早くも半年が過ぎました。全員が大きなけがや病気等なく、楽しく登校できたことを大変うれしく思います。児童生徒のアンケート結果では、学校は忙しすぎたと回答している人もいましたが、ほぼ全員が「楽しかった」と回答しています。秋休みは短いですが、1学期を振り返って2学期に充実したアンケート結果は以下の通りです。



今年も日本人がノーベル賞を受賞！

～ “好奇心” をもち、あきらめないで続けること ～



昨年の本庶氏に続き、今年度も日本人のノーベル賞受賞が発表されました。本当に明るいニュースで、私たちに元気と勇気を与えてくれますね。リチウムイオン電池を開発されたということですが、このような研究の成果が私たちの生活を便利にしてくれていることは、大変ありがたいことだと思います。

今回の賞に輝いた人は、吉野彰氏。若者へのメッセージとして、何事にも「好奇心をもつこと」「粘り強く続けていくこと」と答えておられました。このことは、本校の教育目標（「夢」と「高森の心」を育み、挑戦し続ける児童生徒の育成）とも大きく重なっているのではないのでしょうか。

「自分の夢に向かって、あきらめないで挑戦し続けること」。そうすることで、いつかきっと大輪の花が咲くと信じています。児童生徒のみなさんは、一人一人がすばらしい無限の可能性を秘めています。今日で1学期は終わりますが、気持ちを切り替え、2学期も新たな気持ちで、自分の夢実現に向けて、本領を発揮してほしいと願っています。自分に自信をもって、がんばりましょう。